

研究結果報告書

20世紀早期日本における京劇の研究及び受容

研究計画通り、本研究は20世紀初期日本人の京劇研究及び京劇と日本伝統演劇との舞台交流の実態を巡って、研究を進めました。

この課題に関して、第一部は20世紀早期に日本人の目に映った京劇、京劇像を纏めました。その中には、1910、1920年代に長く北京に滞在して「京劇通」との評価を得ている辻聴花、波多野乾一、村田烏江によって書かれた京劇研究の著書や京劇脚本集などがあります。また、当時中国に進出していた文学者の残された中国紀行文や遊記の中にも、当時の日本人の京劇に対する記述や感想などもあります。この二つの部分を整理することで、1910、1920年代日本人の京劇受容の全体像を探ることができたと言えます。具体的に、以下の四点の論文をまとめました。

1、辻聴花の京劇研究；2、波多野乾一の京劇観；3、大正時期日本近代作家の見た京劇；4、1920年代上海における支那劇研究会及びその京劇研究

以上の論文はいずれも、学術誌に掲載、または投稿中です。

本研究の第二部は20世紀早期における京劇の海外公演（日本）、京劇と日本伝統演劇との舞台交流をめぐる、史料を掘りながら論述を展開しました。具体的研究題目は次の三点です。1、海外における初めての梅蘭芳論 村田孜郎の『支那劇と梅蘭芳』；2、梅蘭芳の1919、1924年の訪日公演；3、1920年代梅蘭芳訪日公演以降日本での京劇上演。1点目の論文も学術雑誌に掲載されており、残りの2点は修正、補完してから、投稿する予定です。

この研究課題については、これからもより深く研究するつもりですが、この度、中日両国の数多くの学者の皆様からの応援、ご示唆を頂いて、順調に複数の論文を纏めまることができたことを感謝致します。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

題名：大正作家の京劇に対する認識—芥川龍之介の見た京劇

発表者：李莉薇

会議名：華南師範大学外国語文化学院2011年度学術ウイーク講演会

時間：2011年12月

場所：華南師範大学外国語文化学院内

題名：1920年代上海における支那劇研究会及び其の京劇研究(予定)

発表者：李莉薇

会議名：广东外语外贸大学国际学术研讨会

時間：2012年12月

場所：广东外语外贸大学内

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

1. 李莉薇 『村田烏江与「支那劇和梅蘭芳」』、『文化遺産』
(cssci核心期刊) 2012年1号

2. 李莉薇 『从日本两大戏剧类综合杂志「悲剧・喜剧」、「戏剧」看日本对京剧的接受』、『戲曲芸術』(艺术类核心期刊) 2012年2号

3. 李莉薇 『从《顺天时报》看近代传媒对梅兰芳首次访日公演的推动』、 『广东技术师范学院学报（社科版）』 2012年8号

4. 《1920年代日本人“京剧通”波多野乾一对京剧的传播》（投稿中）

5. 《论大正时期日本作家对京剧的接受》（《国外文学》掲載予定）

6. 《1920年代上海的支那剧研究会》（投稿中）

書籍（題名・著者名・出版社・発行時期等）